



## 平成31年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年1月30日

上場会社名 株式会社 ウェッズ  
コード番号 7551 URL <http://www.weds.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 稲妻 範彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 上村 定芳

TEL 03-5753-8201

四半期報告書提出予定日 平成31年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	25,719	17.7	1,562	1.3	1,721	6.7	1,046	4.0
30年3月期第3四半期	21,855	1.4	1,541	18.8	1,612	7.1	1,090	5.4

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 1,425百万円 (23.1%) 30年3月期第3四半期 1,158百万円 (16.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	65.28	
30年3月期第3四半期	68.02	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第3四半期	21,899	14,146	58.7	801.99
30年3月期	19,759	13,231	60.9	750.02

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 12,862百万円 30年3月期 12,028百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		10.00		20.00	30.00
31年3月期		10.00			
31年3月期(予想)				18.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

30年3月期期末配当金の内訳 普通配当16円00銭 特別配当4円00銭

### 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,000	11.2	1,720	1.3	1,880	1.4	1,120	18.7	69.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	16,118,166 株	30年3月期	16,118,166 株
期末自己株式数	31年3月期3Q	80,001 株	30年3月期	80,000 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	16,038,166 株	30年3月期3Q	16,038,166 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報) .....	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府による経済政策を背景に、企業収益や雇用・所得環境が徐々に改善されました。一方、世界経済につきましては、米国の保護主義的な通商政策による貿易摩擦の動向、金融市場の変動等により先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当連結会計年度の売上高は、前年第4四半期より子会社となった株式会社ロジックスの物流セグメントの追加等により、25,719百万円（前年同期比17.7%の増収）となりました。営業利益は、売上同様に株式会社ロジックスの効果により、主力のアルミホイールは、顧客の低価格指向による高付加価値ホイールの減少、原材料等の値上げ影響等、減益の影響はあったものの1,562百万円（前年同期比1.3%の増益）となり、経常利益も同様に、1,721百万円（前年同期比6.7%の増益）となりました。一方、親会社株主に帰属する四半期純利益は、1,046百万円（前年同期比4.0%の減益）という結果になりました。

(セグメント別の概況)

(単位：百万円)

		自動車関連 卸売事業	物流事業	自動車関連 小売事業	福祉事業	その他	調整額	連結
売上高	当第3四半期 連結累計期間	19,808	4,621	1,433	309	858	△1,312	25,719
	前第3四半期 連結累計期間	19,478	—	1,365	327	763	△80	21,855
セグメント利益 又は損失(△)	当第3四半期 連結累計期間	1,241	290	34	△29	26	△2	1,562
	前第3四半期 連結累計期間	1,489	—	22	△18	47	—	1,541

(自動車関連卸売事業)

自動車関連卸売事業の売上高は、19,808百万円となり前年同期比329百万円(1.7%)の増収となりました。これは、主力のアルミホイールは減少したものの、スチールホイール・用品等の売上が増加したことに拠ります。

一方、セグメント利益につきましては、アルミホイールにおいてお客様の低価格指向、原材料高騰による原価高が影響し1,241百万円となり前年同期比248百万円(△16.7%)の減益となりました。

(物流事業)

前第4四半期より連結子会社となった株式会社ロジックスの営む物流事業の第3四半期の売上高は、4,621百万円となり、セグメント利益は290百万円と堅調に推移しました。

(自動車関連小売事業)

自動車関連小売事業の売上高は集客効果等により1,433百万円となり前年同期比67百万円(5.0%)の増収となりました。セグメント利益は売上増加により34百万円となり前年同期比12百万円(55.3%)の増益となりました。

(福祉事業)

福祉事業の売上高は、入居者の減少により309百万円と前年同期比17百万円(△5.4%)の減収となりました。セグメント損失は、主に減収の影響により29百万円となり前年同期比11百万円の損失の増加となりました。

(その他)

携帯電話代理店事業の売上高につきましては、昨年4月より新規オープンした酒田みずほ店により、793百万円となり前年同期比94百万円(13.5%)の増収、賃貸事業の売上高は65百万円で前年とほぼ同額となり、合わせて858百万円となり95百万円(12.5%)の増収となりました。

一方、セグメント利益は、携帯電話代理店事業においては、新規店による初期費用により、11百万円の損失と前年同期比20百万円の減益となりました。また、賃貸事業は38百万円で前年同期とほぼ同額になり、合わせて26百万円と前年同期比20百万円(△43.7%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結累計期間における資金については、主として売掛債権の発生期にあたり短期借入金1,300百万円を実施いたしました。当第3四半期連結累計期間における資金については、運転資金は金融機関より短期借入金で対応し、大規模な設備投資等の必要資金については資金必要時の金融状況を鑑みて、所定の社内手続を経て金融機関より長期及び短期の借入金にて賄う方針であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結・個別業績予想については、平成30年10月22日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結・個別業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	2,588,941	1,787,524
受取手形及び売掛金	4,048,925	6,589,068
電子記録債権	224,030	201,577
商品	2,892,181	3,835,823
仕掛品	237,751	211,282
原材料及び貯蔵品	59,969	54,487
デリバティブ債権	—	263,208
前渡金	547,553	417,169
その他	365,108	237,758
貸倒引当金	△1,632	△1,817
流動資産合計	10,962,828	13,596,082
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	6,625,056	6,700,379
減価償却累計額	△3,627,586	△3,779,393
建物及び構築物（純額）	2,997,470	2,920,986
土地	3,169,738	3,169,738
その他	1,643,413	1,680,464
減価償却累計額	△1,268,994	△1,333,914
その他（純額）	374,419	346,550
建設仮勘定	350,453	341,757
有形固定資産合計	6,892,082	6,779,032
<b>無形固定資産</b>		
のれん	158,728	144,970
その他	81,564	82,736
無形固定資産合計	240,292	227,706
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	492,722	390,199
繰延税金資産	265,401	155,354
退職給付に係る資産	82,609	72,141
その他	828,383	685,889
貸倒引当金	△4,910	△6,538
投資その他の資産合計	1,664,207	1,297,046
固定資産合計	8,796,582	8,303,785
資産合計	19,759,411	21,899,868

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,479,599	3,325,196
短期借入金	1,026,476	1,918,988
未払法人税等	480,559	382,548
携帯電話短期解約返戻引当金	320	493
賞与引当金	200,556	176,369
役員賞与引当金	46,050	26,850
デリバティブ債務	239,697	367
その他	963,884	805,152
流動負債合計	5,437,143	6,635,964
固定負債		
長期借入金	80,044	35,053
繰延税金負債	21,278	32,477
修繕引当金	94,000	103,000
退職給付に係る負債	164,810	180,564
役員退職慰労引当金	185,514	203,883
資産除去債務	192,607	194,871
その他	352,456	367,467
固定負債合計	1,090,711	1,117,318
負債合計	6,527,855	7,753,283
純資産の部		
株主資本		
資本金	852,750	852,750
資本剰余金	745,979	745,979
利益剰余金	10,395,328	10,961,161
自己株式	△47,760	△47,760
株主資本合計	11,946,298	12,512,130
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	218,528	139,899
繰延ヘッジ損益	△165,698	182,373
為替換算調整勘定	29,738	28,109
その他の包括利益累計額合計	82,567	350,382
非支配株主持分	1,202,690	1,284,071
純資産合計	13,231,556	14,146,584
負債純資産合計	19,759,411	21,899,868

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	21,855,539	25,719,463
売上原価	16,765,318	20,722,998
売上総利益	5,090,220	4,996,465
販売費及び一般管理費	3,548,597	3,434,073
営業利益	1,541,622	1,562,392
営業外収益		
受取利息	714	310
受取配当金	11,191	15,406
為替差益	—	28,806
持分法による投資利益	64,002	—
保険解約返戻金	—	73,634
その他	12,606	51,368
営業外収益合計	88,514	169,528
営業外費用		
支払利息	3,500	4,818
為替差損	13,435	—
その他	416	6,062
営業外費用合計	17,353	10,881
経常利益	1,612,784	1,721,040
税金等調整前四半期純利益	1,612,784	1,721,040
法人税、住民税及び事業税	498,016	561,478
法人税等調整額	22,833	1,751
法人税等合計	520,849	563,230
四半期純利益	1,091,934	1,157,809
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,002	110,831
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,090,932	1,046,977

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)
四半期純利益	1,091,934	1,157,809
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	68,869	△78,679
繰延ヘッジ損益	△2,834	348,072
為替換算調整勘定	525	△1,628
その他の包括利益合計	66,561	267,763
四半期包括利益	1,158,495	1,425,573
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,156,978	1,314,792
非支配株主に係る四半期包括利益	1,516	110,780

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	自動車関連 卸売事業	自動車関連 小売事業	福祉事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	19,399,834	1,364,912	327,315	21,092,062	763,476	21,855,539	—	21,855,539
セグメント間の内部売上高又は振替高	79,154	857	—	80,011	—	80,011	(80,011)	—
計	19,478,989	1,365,769	327,315	21,172,074	763,476	21,935,550	(80,011)	21,855,539
セグメント利益又は損失(△)	1,489,956	22,466	△18,111	1,494,311	47,311	1,541,622	—	1,541,622

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、携帯電話代理店事業、賃貸事業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)3
	自動車関連 卸売事業	物流事業	自動車関連 小売事業	福祉事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	19,590,494	3,542,858	1,417,854	309,506	24,860,713	858,750	25,719,463	—	25,719,463
セグメント間の内部売上高又は振替高	217,840	1,078,741	15,820	—	1,312,402	—	1,312,402	(1,312,402)	—
計	19,808,334	4,621,600	1,433,675	309,506	26,173,116	858,750	27,031,866	(1,312,402)	25,719,463
セグメント利益又は損失(△)	1,241,428	290,950	34,886	△29,134	1,538,130	26,630	1,564,760	△2,368	1,562,392

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、携帯電話代理店事業、賃貸事業であります。

2. セグメント利益の調整額△2,368千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの追加)

前第4四半期連結会計期間において、株式会社ロジックスの株式を追加取得し当社の連結子会社としております。これに伴い、報告セグメントに「物流事業」を新たに追加しております。